



野岸祭も終り、もうすぐ夏休み。勉学に遊びに楽しみも多い時期ですが、3年生は将来に向け進路を検討しなければならない時期でもあります。そこで今回は音楽科を卒業され、進学された先輩方やその保護者の皆様よりLINDENBAUMの為にアドバイスとして原稿を寄せていただきました。3年生のみならず、1年生、2年生にとっても今後の進路を検討するうえで、ご参考にいただければ幸いです。

卒業生からのアドバイス

昭和音楽大学

小諸高校音楽科での生活は私にとって、あつという間の三年間でした。小諸高校は行事が多く、一日一日過ぎるのがとても早かったです。

進路決定時は悩みました。沢山の音楽大学がある中で昭和音楽大学に決めた理由は沢山のコースがあるからです。私はクラシックに限らず様々なジャンルの音楽が好きで、多様なジャンルがあるこの昭和音楽大学を選びました。また、昭和音楽大学の雰囲気が明るく、先輩後輩関係が良いところも決め手になりました。

受験時は不安が多く、そんな中、担当の先生をはじめ、沢山の先生方が親身になって相談にのってくれたり、受験対策の為にプレッシャーコンサートやソルフェージュを見ていただいたりと大変な難しかったです。また、友達同士で聴きあったりもしました。親しい中だからこそ、友達からの指摘は大変勉強になり、自分を成長させてくれました。

大学は北は北海道、南は沖縄まで全県から集まり、さらに活気が増します。そんな中で切磋琢磨し更に成長できるよう努めます。そして、大学生活は高校時代より更に早いです。日々課題に追われ、気づけば6月。これから4年間あつという間だと思います。一日一日を無駄にしないで大切に過ごしたいです。

信州大学 教育学部 音楽教育コース

皆さんこんにちは。私は現在信州大学教育学部で学んでいます。正式には学校教育教員養成課程、音楽教育コースといいますが、卒業後は学校の教師として教壇に立つことを目標にしています。

中学校が信大付属松本中学校だったので、中学の時から多くの教育実習生に接し、職業として教師になりたいと高校受験の時は考えていました。さらに、小さい時から音楽に親しんでいたため、高校でも深く音楽を学びたいと考え、迷うことなく小諸高校音楽科を志願しました。

高校生活は、充実した3年間になりました。音楽環境の良さはもちろん、先生方が大変親身に学業生活に関し指導してくださいました。小諸高校音楽科からは毎年信大教育学部へ公募推薦での入学実績があったので私も推薦していただけるように、定期テスト等に向けて、音楽に関する教科だけでなく全ての教科をしっかり勉強しました。さらに勉強だけでなく生徒会や部活動にも力を入れ、人間的にも幅広く成長できるような活動しました。

高校生活で不安や迷いが出たら、友達や親、先生に大いに相談し、話をして下さい。小諸高校音楽科での学びを重要視することが、大学合格への確実な道しるべになります。

東京藝術大学 楽器専攻 オーボエ

昨年小諸高校を卒業し、現在東京藝術大学でオーボエを専攻しています。

進路決定は早い段階から親や先生方には自分がどの道を進みたいのか伝えることが大切です！私は進路を決める期間が一番辛く、何度も何度も悩みましたが、結局は自分が将来どうしたいかを考えました。私は将来音楽家になりたいと思っていたので、日本のトップレベルの人と共に学ぶことのできる東京藝術大学を選びました。私はその時しっかり自分の意思を固めて進路決定ができたので、受験の時に辛くなくても、そして今も頑張ることができています。受験しようと決意した時期は2年生の頃で、本格的に実技の受験準備を始めたのは2年生の11月頃です。

私の場合は学校でのレッスン以外に週1でレッスンに通っていました。ソルフェージュや楽典については普通の授業をしっかり受けていれば問題ないと思いますが、私は音研にある聴音のCDや楽典の問題集などをお借りして入試に備えていました。試験では実技が重視されますが、もちろんその他のソルフェージュやセンター試験ができていないと落とされてしまいます。また、入学できたとしてもついていくのが大変です。高校生のうちにどれだけ勉強できるかが大切なので今から頑張った方がいいです！

あとは、演奏会や文化祭などにも足を運んでみて下さい。モチベーションにもなり受験も頑張れるのでお勧めです。

受験の事等で沢山迷ったり悩むことがあると思いますが、是非小諸高校を卒業された先輩や先生方を沢山頼って頑張ってください。皆さんを心から応援しています！

卒業生保護者アンケート

1 御子弟の進路先

新潟大学 教育学部 芸術環境創造課程 音楽表現コース

2 志望校の決定時期

高校3年の8月頃

3 志望動機および決定理由

高校入学時から、私立の音楽大学を目指し指定校推薦での試験を考えていましたが、小諸高校で出会った先生方がとても親身になり指導している姿を見て教員の道へ進むことを決めた様です。ですが、音楽の勉強も続けていきたいので教育学部の中でも芸術環境創造課程のある新潟大学への受験を決めました。

4 学習方法(一般教科含む)

・推薦入試(実技と面接) 実技は専攻の先生に、面接は学校の先生方に練習をして頂きました。

・センター試験(英、国、日本史B)

学習塾等には通っていませんので、各教科の先生に教えて頂きました。進路決定が夏以降の為、本格的に勉強を始めたのは秋から冬にかけて過去問を解いて分からない所は先生に質問したり、冬休み中も学校へ通って勉強しました。

5 受験等に要した費用(受験準備、受験時、受験後入学費等)

・受験準備…学習塾や個人レッスンなどもしないため、特にありません。

・受験時…受験料18,000円 交通費、宿泊費 約30,000円

・センター試験(3科目)…18,000円

・入学費用…入学料 282,000円 授業料(前期分・5月)267,900円
納入金(同窓会や学友会費等)約60,000円 生協(保険料等)約35,000円

6 合格から入学までのアドバイス(住居探し、心構え等)

音楽大学と違って、大学周辺には防音のアパートがありません。ピアノ可の物件も少ないので受験を決めたら出来るだけ早くアパート探しをした方がいいと思います。

新潟大学はTOEICが重視されるので、英語の勉強は入学前にしっかりとっておいた方がいいです。

7 その他(進路決定や受験までの心構え等)

進路は出来るだけ早く決める事が望ましいです。娘は高3の夏に進路を決めたので、センター試験の勉強は間に合いませんでした。自分が何をしたいのか目標が決まったらオープンキャンパスや大学説明会など早いうちから色々な大学へ見学に行ってみて下さい。大学の雰囲気は、実際に行ってみないと分からないことが多いです。

この発行にあたり、個人の情報が特定されないよう多少文章に変更がございますがご協力頂きました皆様にはご了承頂きたくお願い申し上げます。

後輩の為、小諸高校音楽科に対し良きアドバイスを頂きました先輩の皆様及びアンケートにご協力頂きました保護者の皆様には大変感謝しております。

1 御子弟の進路先

昭和音楽大学

2 志望校の決定時期

7月

3 志望動機および決定理由

本人の希望による。研修旅行の際、印象が良かった様です。

4 学習方法(一般教科含む)

高校:レッスン 個人:レッスン 大学:オープンキャンパス、講習会

5 合格から入学までのアドバイス(住居探し、心構え等)

進路が早く決まるのであれば、住居探しはなるべく早い方がいいです。(夏休み中)



1 御子弟の進路先

信州大学 教育学部 学校教育教員養成課程 音楽教育コース

2 志望校の決定時期

高校1年時

3 志望動機および決定理由

義務教育の教師になりたかったため

4 学習方法(一般教科含む)

大学受験のための特別な入試対策(塾や通信学習等)はせず、1年生の時から「日々の授業を大切にするように。全教科をまんべんなく良い成績がとれるように。」と言ってきました。実技のピアノと声楽は学校の講師の先生のレッスンのみ。とにかく、小諸高校での授業とレッスンを大切にしてもらいました。

5 受験等に要した費用(受験準備、受験時、受験後入学費等)

授業準備:0円

受験料 : 入学検定料17,000円 センター3教科18,000円

入学金 : 282,000円、前期授業料 267,900円

6 合格から入学までのアドバイス(住居探し、心構え等)

合格通知が届き、しばらくするとどうしても気が緩みます。いかにモチベーションを維持するか課題でした。大学一年時には教養なので、声楽とピアノのレッスンがありません。卒業後も続けられるように早めに対応しておくべきだったと反省点です。

7 その他(進路決定や受験までの心構え等)

合格通知は届いても、センター試験は受験することになっています。英語のクラス分けはセンターの点数によって決まります。背伸びする必要はありませんが、センターの勉強もやっておいた方がいいと思います。

信州大学の推薦入試では、面接の比重が大きいように思います。面接練習には、かなり力を入れていました。学校中の先生に面接練習をお願いしていたようです。担任の先生には早くから指導して頂きました。そのおかげで、本番は全く緊張せずに臨めたようです。

進路は早く決めており、その意思表示もしっかりしていて、先生方を信頼して過ごしていました。先生方には本当にお世話になりました。感謝申し上げます。

